



■ 新入会員オリエンテーションに参加して



私は知人から「都草は幅広い活動してるよ」と紹介されて今春入会しました。早速、6月の行事予定で「大船鉾」のお手伝いをする募集がありました。今まで体験したことのないもので、しかも京都だけでなく全国の三大祭のひとつです。150年の時を経て復活した鉾です。ワクワクしながら申し込みました。

「大船鉾」の研修では先ず「大船鉾」は「おおふねほこ」が正しい呼び方だと教わりました。私は今まで「おおふなぼこ」と発音していました。祇園祭の鉾も今まで少しは勉強したつもりでしたが知らなかった〜。

鉾の先頭のかざりは龍頭だけでなく金幣もあり、一年交代するそうです。中心にお祀りするのは神功皇后です。神功皇后は前祭の船鉾では戦の前なので鎧を着けていますが、後祭は戦の後なので鎧を着けていません。

戦の後、無事出産されたので安産の神様でもあり凱旋鉾とも呼ばれていました。伝統行事に参加（ご奉仕）させて頂き本当に楽しい経験を致しました。

8月に入り新入会員オリエンテーションの案内が届き、9月14日に参加しました。研修では会員数、組織体制など、また災害時等における都草の基準について説明がありました。

そして約20程の部会やクラブの他に受託のガイドや講座などが7項目と多彩な活動内容でした。今年から時代祭、来春の葵祭なども対象になるようです。これは迷いますね。

私は社寺のお掃除に興味が増えました。これからも未体験ゾーンを楽しんで参りたいと思います。

(会員 遠藤 千代子)

■ 京都御所・御苑を担当して

京都人である私にとって京都御所や御苑は歴史・文化を感じられ、四季折々の美しい景色、様々な種類の植物にも触れることができいつも心癒される場所です。

その場所でガイドを担当することになりました。すごく緊張した初デビューは『御苑東コース』でした。終了後、参加者の拍手や都草への入会方法などを聞かれたときにはとても嬉しく、もっと努力をせねばとの思いを強めました。

今は『宮家・公家コース』を担当しています。閑院宮邸跡→厳島神社→宗像神社→白雲神社→西園寺邸跡→枇杷殿跡を巡るのですが、最終地点の枇杷殿跡では「ここは来年のNHK大河ドラマ『光る君へ』で注目される場所になりそうですよ。紫式部がこの邸で女房として仕えていたといわれている場所ですから」と話しています。

また参加者はほとんどシニア世代の方で、たまに子供連れの家族もおられます。先日、歴女とおぼしき2名の若い参加者もありました。「歴史に興味を持ったきっかけは？」と伺うと「アニメや漫画です」との返答。時代の流れを感じた瞬間でした。ガイドは案内するだけでなく、その中で参加者の方々に多くのことを教えてもらっているのだと認識しました。(会員 樋口 恭子)



■ 東京支部第1回定例会の開催



7月8日(土)に大正大学にて、東京支部第1回定例会を開催しました。7月上旬とはいえ真夏を思わせる気候の中、小松香織理事長も出席され、支部会員を合わせて計15人が参加しました。

東京支部は、活動対象となる京都から離れていること、支部会員の居住地が広範囲に点在していること、使いやすい拠点を安定して確保するのが難しいこと、現役の勤労者が多かったこと等により、これまで組織的な活動はほとんどなく、年に1～2度、東京で催される京都関連

の展覧会に呼び掛けて集う程度でした。更にコロナ禍により2020年以降は休眠状態に陥っていました。

特に、使いやすい拠点の安定的確保は最大の難題でしたが、京都市東京事務所の斡旋により大正大学の教室が借用出来ることになったことを契機に、昨年より取り組み始めた活性化に拍車がかかり、ようやく今般、“新生”東京支部の、実質的にキックオフ会議を持つに至りました。

今後の活動目的として、「都草の組織目的に沿い、東京及び主に首都圏での京都の観光文化の振興と啓蒙に関する活動を行う」を掲げ、この目的を推進するために支部会員の交流と知見の拡充を図ることを謳いあげました。今後は定期的に集まる場を設け、都草全体の直近の動向、最近の京都関連情報等の情報交流を行い、いずれは会員による研究発表会も行っていこうと考えています。

ただ、しばらくは試行錯誤が続くかと思いますので、会員の皆様のご支援ご協力を宜しくお願いいたします。

(理事 久宗 圭一)

■ YouTube 動画撮影で大船鉦巡行に同行



都草が製作しているYouTube動画の第5回は、祇園祭の後祭山鉦巡行でしんがりを務める大船鉦を取り上げました。四条町大船鉦保存会から撮影の許可をいただき、さらに、巡行当日は四条町の揃いの白い袴纏をお借りして、スタートから最後まで同行して撮影しました。

7月24日後祭当日、午前7時に大船鉦に到着、鉦の回りには既に巡行に参加する方々が大勢集まっています。参加者の記念撮影が済み、8時半に大船鉦保存会会所を出発、この場面は一般の方には撮影できないアングルとして会所の2階から撮影しました。そのまますぐに鉦を追いかけ、蛸薬師通で待ち受けて新町通を巡行する姿を撮影、なかなかいい画が撮れました。昨年は三条通の手前で鷹山の辻回しを待ちましたが今年はそのまま通過、御池通で辻回しをしてから少し西に下がって、鷹山の通過を待ちました。鷹山が御池通をスタートすると、それを追うように大船鉦の巡行が始まります。巡行の見せ場は、河原町御池交差点での辻回しです。ここは市役所の建物をバックに豪快な場面を撮影します。次の四条河原町交差点では、角度を変えて車輪が竹の上を滑る場面をアップで撮影しました。

四条新町交差点で最後の辻回しを終え会所に戻ってきた時点で巡行は終了、保存会の木村宣介理事長の一丁締めでお開きとなりました。巡行に参加された皆さんの晴れがましく、また一仕事終えてホッとした表情が印象的でした。京都 都草のとおき第5回「大船鉦の祇園祭 一年で最も熱い一日」は8月10日に一般公開しました。都草ホームページの「YouTube 公開動画」では是非ご覧ください。(副理事長 須田 信夫)